



朝のつどい

活動のねらい

○児童の交流を深めるとともに、1日目の振り返りをしたり、2日目の見通しを持ったりすることで、2日目の活動への意欲づけや安全で規律ある船内生活への意識づけをする。

【場所】甲板・多目的室

【時間】10分間～20分間

主な学習の流れ

- ①甲板または多目的室へ移動して班ごとに整列し、座って待つ。
 ※班担当の教職員は、各班を先導し、整列までの指導を行う。
 ※甲板で行う場合、教職員は「救命浮環」を持ち、甲板指導の監視または指導ポイント（船内図参照）で指導を行う。
- ②「湖の子」周航歌『希望の船』の1番を斉唱（合唱）する。
 旗を掲揚する児童は、歌に合わせて旗の掲揚をする。
 ※旗の掲揚は、4階甲板にて、旗の数に合わせて代表児童が行えるようにする。
 ※伴奏はCDで行うが、多目的室では児童または教職員の電子ピアノによる伴奏で歌うこともできる。
- ③「教職員代表挨拶」「児童代表挨拶」を聞く。
 ※児童代表者には、発表の仕方について指導しておく。
- ④体ほぐしの運動を行う。
 ※起床後の体や心がほぐれるよう、ゆったりとした運動となるようにする。

●教職員指導内容

- ・朝のつどいの司会・進行は教職員もしくは児童で行う。
- ・活動の流れについては、乗船校の実態や2日目の活動に合わせて変更できる。
- ・移動時間も考慮し、活動の時間や場所、内容を設定する。
- ・1日目を振り返り、2日目の活動の見通しやめあてを確認できるようにする。
- ・気持ちを引き締め、児童と教職員全員が安全に配慮して2日目を過ごせるようにする。
- ・荒天時は、多目的室で行う。